

～カンボジア遠征～ part2

こんにちは。

グラナダスプリントクラスコーチの鷲野です。

今回のレポートでは、カンボジア代表の練習の様子や、スプリントトレーニングを通して、代表選手たちがどのように変化したかお話しします。

その前に、少しでもカンボジアのサッカー事情について説明します。

現在、カンボジアでサッカーの人气が高まってきています。

カンボジアに詳しい日本人スタッフに聞いたところ、ちょうどJリーグが日本に誕生した時と同じくらいの熱量があるとのことでした。

カンボジアの国内リーグは14チームあり、なんと日本人選手も多く所属しています。

カンボジア・リーグ1チーム



<カンボジアのサッカーチームのエンブレム>

これは、クラブのオーナーを日本人が務めているチームが複数あることが理由のようです。

本田圭佑選手がオーナーを務めるチームもあります。

また、カンボジア代表を日系企業がメインスポンサーとしてサポートするなど、日本とカンボジアのサッカーの関係性は多くあります。

近い将来、カンボジアの選手がJリーグで活躍する姿を見ることができるでしょう。

2019年6月4日

ミネベアミツミ株式会社

カンボジアサッカー代表チーム・オフィシャルパートナーとしてスポンサー契約を締結

MinebeaMitsumi
Passion to Create Value through Difference



ミネベアミツミ株式会社（以下：ミネベアミツミ）のカンボジア現地法人Minebea (Cambodia) Co., Ltd.は、このたびカンボジアサッカー代表チーム（Cambodia National Football Team）のオフィシャルパートナーとなり、カンボジアサッカー連盟（Football Federation of Cambodia、以下：FFC）とスポンサーシップ契約を締結いたしました。

※より詳細な発表内容は、[Minebea \(Cambodia\) Co., Ltd.ウェブサイト](#)よりご覧ください。

では、カンボジア代表選手の練習の様子をお伝えしていきます。
代表選手の1日がどうなっているか、皆さんはご存知ですか？
日本でも国際大会などが近くなると、代表選手が招集されますよね。
招集後、彼らは合宿地のホテルに泊まり込み、1日中朝から晩まで、サッカーの練習漬けの毎日
過ごしていま……せん笑
代表合宿での練習は1日90分程度です。
午前中に、ミーティングで戦術や対戦相手の特徴などを確認し、午後からの練習で実践という流
れになっています。



<ミーティングが行われていたホテルの一室>

これはヨーロッパで主流のやり方で、ほぼ全世界的にこの手法がとられているようです。
カンボジアでも、このスタイルで練習が進められていました。
午前中は朝食後に戦術確認のミーティングを約30分、午後からグラウンドに移動して練習でし
た。



<選手の移動に使うバス>

詳しく時間の流れをいうと、朝食は8時から、ミーティングは11時30分から30分間、ミーティングが終わったらそのまま昼食、練習は16時からです。

意外と時間的な余裕はあります。

自由時間の過ごし方は、ストレッチやトレーナーからマッサージを受けるなどして体のケアをしたり、ホテル近くを散歩するなどしていました。

ちょっとした小話ですが、以前までのカンボジアは練習時間が長く、選手もホテルから自由に出ることができず、カンボジア軍の見張りがついていたそうです。

今回の合宿でもホテルには常に軍の関係者がいました。



<合宿で使ったホテル>

ミーティングの様子を話したいと思います。

ミーティングの内容は戦術が中心です。

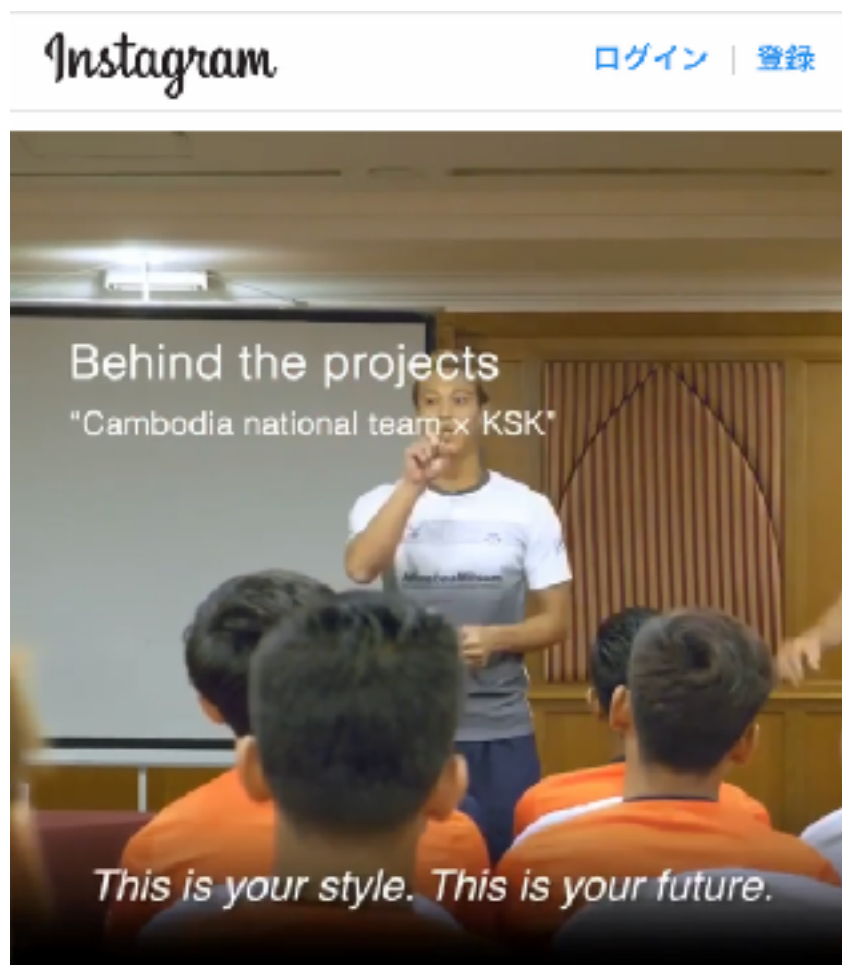
本田監督はカンボジア代表でポゼッションサッカーを目指しています。

そのための戦術の確認をミーティングで行なっていました。

皆さん、本田選手のinstagramは見てくれたでしょうか？

香港戦を控えた代表選手たちに、本田選手が監督としてミーティングで伝えた言葉が

「私の周りの人々は、カンボジアが格上のチームとやるとき11人が90分間引いて守って、1回か2回あるカウンターのチャンスで点を狙うんだろ？と言ってくる。私は彼らにそんなことはしないと。私はサッカーの質の話をしているのではない。心構えの話をしている。格上のチームを恐れるな。私は決してミスについて責めたりはしない。恐れずに自分たちのスタイルでプレーすることができたら、私はカンボジアというチームを尊敬する。」



再生149,187回

keisukehonda I'm sorry for my bad English. Hope you understand what I wanted to say.

@cambodianationalteam #bahrain #10sep2019

コメント430件をすべて表示

皆さんも、日本が格上のチーム相手に90分間引いて守って、カウンターだけを狙うサッカーをしていたら、試合後の感想はどうなるでしょうか？

似たような事例として、ロシアW杯のポーランド戦、日本は1点差で負けている状態で、自陣でボールをまわし続けましたね。

結果が求められる状況で、90分間引いて守る、自陣でボールを保持し続ける、どれも正しい判断です。

しかし、本田監督はリスクをとり、ポゼッションサッカーで格上の香港、バーレーンに向かっていきました。

結果、香港とは引き分け、バーレーンには0-1で負けましたが、ボール支配率は両試合とも60%とカンボジアというチームの力を見せてくれました。

ミーティングで本田監督はこうも言っていました。

「君たちがこのスタイルを貫けば、世界中が君たちに注目することになる。カンボジ代表というチームが変わることになる。」



私はその通りだなと思いました。

カンボジア代表は今、大きなチャレンジをしています。

次戦、アジアでも強豪のイラン、イラクと対戦します。

そこでも、カンボジア代表の選手たちは、果敢に自分たちのスタイルで挑んでいくでしょう。

グラーナの皆さんも、練習では常にチャレンジを意識してみてください。
いつもとは違うキックのやり方、やり慣れたものとは別のフェイントをかける、いつもはしなかったドリブル突破を試みる、このチャレンジをするだけで、コーチや監督が君たちを見る目は変わってくるでしょう。
自分を変えるために新しいチャレンジを！！

次回は練習の様子についてお話ししたいと思います。